

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 山梨英和中学校・等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

住所 〒400-8507

山梨県甲府市愛宕町112

E-mail : js-info@yamanashi-eiwa.ac.jp

Website : <http://www.yamanashi-eiwa.ac.jp>

児童生徒数：男子 0 名 女子 499 名 合計 499 名

児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ① 環境学習

中学3年次で全員が環境に関して調べ学習を実施し、その成果をポスターで発表した。高校1年次、高校2年次では、環境をテーマに課題研究を実施し、成果をポスターにまとめ日本語または英語で発表した。今年度は新たに「Kids' ISO14000 プログラム」の取り組みを始め、環境委員・自然科学同好会の生徒たち8名がチャレンジし、7名が国際認定証を授与された。

自然科学同好会は、富士山北麓のササラダニ類の多様性調査、土壌生育酵母を利用した廃棄物からの土壌改質材生産に関する研究、ヒドラを用いた生態毒性試験、麹菌の特性に関する比較、生物を利用した水質浄化の研究を行い、以下の賞をいただいた。

- ・環境科学会 2015 年最優秀賞・優秀賞受賞
- ・日本学生科学賞山梨県審査会県教育長賞受賞
- ・第13回山梨科学アカデミー高等学校部門 児童・生徒科学賞受賞

また、昨年度に引き続き、研究の成果として生成したバイオディーゼル燃料を使って、クリスマスツリー点火式を行った。

#### ② Global Studies

高校1年の英語強化クラスを対象に学校設定科目「Global Studies I」を開講し、批判的思考力を養いながら、ミレニアム開発目標を題材として地球規模的問題について学習した。また、高校2年の英語強化クラスを対象に学校設定科目「Global Studies II」を開講し、環境や母子保健などに配慮した住みやすい街づくりをテーマに、地域社会に貢献すると同時に、成果物を途上国支援に繋げる方法を考えた。また、授業の一環として開催された2回のGlobal Studies 講演会には、中学生も参加し、母子保健分野や途上国の教育などで国際的に貢献する講師の講演を聴いた。

#### ③ 各学年のホームルームでの国際理解学習

##### ・「世界一大きい授業」

5月12日、中学全学年で「世界一大きい授業」を実施した。世界の教育事情について学習し、教育の必要性について考える機会を持った。

#### ④ 海外研修

##### ・カナダ研修

7月30日～8月19日に実施され、中学3年生20名、高校1年生10名が参加した。ブリティッシュ・コロンビア州で3週間にわたり英語学習を実施した。ファーストネイションズと呼ばれる先住民の民族の文化について学んだり、チャリティー活動にも参加した。研修の最後に、バンクーバー近郊の日系人高齢者施設を訪れ、交流の時を持った。

##### ・タイ・ラオス研修

9月6日～12日に実施され、高校2年生と中学3年生の2名が参加した。タイ・ラオスを訪れ、本校で奨学金を送っているダルニー奨学生を訪問し、小学校等で交流やボランティア活動を行った。

##### ・ドイツ研修

10月4日～11日に実施され、高校2年の理系クラス17名が参加した。環境先

進国ドイツで、環境に配慮した技術や施設を見学した。姉妹校シュテッテン・ギムナジウムで研究発表を行い理科の授業に参加した。ホームステイを体験し、ドイツの家庭における環境保護意識を調査した。

#### ・ JICA モンゴル研修

3月25日～30日に実施され、中学1年生から高校2年生まで合計17名が参加する。モンゴルの諸問題を解決するため日々活動している国際協力現場を視察し、国際問題と国際協力について深く考える。

#### ・ 日中韓青年文化フェスティバル

7月25日～29日に北京で開催された、2015日中韓青年文化フェスティバル(ユネスコ協会主催)に本校の生徒4名が日本代表団として参加した。「若者と持続可能な社会」をテーマに英語でディスカッションを行い、各国の取り組みについて相互理解を深めた。

### ⑤ ロシア・バーレーン青年団との交流

1月19日に内閣府の事業の一環で来日していたロシア・バーレーンの青年24名が本校を訪問した。中学生、高校生の希望者がロシア・バーレーンの歌やダンスを鑑賞した。また、高校2年生の英語強化クラスの生徒達が英語で学校紹介を行い、高校3年生の食品調理の授業ではちらし寿司を一緒に作るなどの交流を行った。

### ⑥ 英語・ハンゲル・ドイツ語・フランス語による詩編暗唱大会実施

国際社会に必要な多文化主義的価値観を育成し、卒業後も聖書の言葉を心の糧とする素地を作ることを目的に5年前に始まったこのコンテストに、今年は28名の参加を得た。詩編46編1～7節を、英語、ハンゲル、ドイツ語、フランス語のいずれかで暗唱した。中学1年生から高校1年生までの参加者は、それぞれに練習の成果を発揮した。

### ⑦ 手紙翻訳プロジェクト

1927年に日米親善のために日本から人形が贈られたが、その際に同封された40通の手紙が現在もそのままの状態ワイオミング州立博物館に保管されている。本校が同博物館からの依頼を受け、ボランティアの一環として中学2年生の英語の授業で翻訳作業を行った。時を越えて草の根で続く親善交流の一端を担うことができた。

### ⑧ 英語劇

1月22日(金)に英語劇の発表会があり、中学全クラスがそれぞれ英語劇を上演した。

### ⑨ ボランティア活動

生徒会活動としてボランティア活動を行った。聖歌隊・マンドリン部は高齢者施設などで訪問演奏を行った。また、聖歌隊と体育局の有志による東北被災地ボランティアも行った。YWCAひまわり部は高齢者への配食サービスを手伝ったり、高齢者施設を訪問してボランティアを行うなど、積極的にボランティアを行った。今年度もYWCAひまわり部は全員がESDパスポートを持った。学校としてESDパスポートを活用することは今後の課題である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）